

## DPF 再生

### ■適応車種

デミオ(DJ5FS)、CX-3(DK5FW)、CX-5(KE2FW) 等

G-scan を使用して行う『DPF 再生』要領を記載しますので、参考にしてください。

### ※警告※

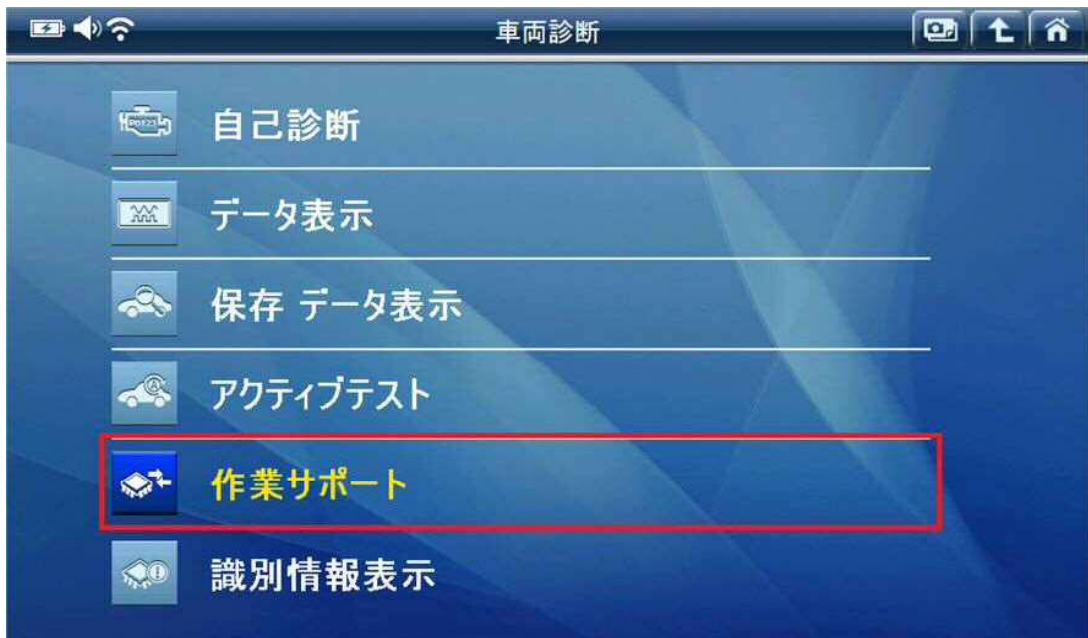
- ・ DPF 再生中は、高温の排気ガスが排出されるため、DPF 再生を実施する場合は、必ず周りに人や可燃物がない場所で行ってください。
- ・ DPF 再生を実施する場合は、必ず風通しの良い場所で行ってください。

### ※注意※

- ・ エンジンルームの過熱を防ぐため、DPF 再生中はボンネットを開けてください。
- ・ DPF 再生中は、電気負荷（ヘッド・ライト、リヤデフォグ等）を作動しないでください。
- ・ DPF 再生を実施する場合は、必ずテールパイプ付近に障害物がない状態で行ってください。（障害物があると、排気ガス通路（通気）の妨げによる排気ガス温度が上昇し、DPF 再生が正常に行われずおそれがあります。）
- ・ DPF 再生中は、トランクルーム内の温度が上昇するため、電子機器等の熱によるダメージを受けやすいものを置かないでください。
- ・ PCM は、P2458:00、P2463:00、P242F:00 以外の故障コードを検出している場合は、DPF 再生を禁止する場合があります。DPF 再生を行う前に、不具合を解決し故障コードを消去してください。

1. IG SW OFF の状態で診断コネクタ(OBD16 ピン)に G-scan を接続してください。
2. IG SW ON およびエンジン始動の状態、G-scan の電源を ON にして車種、システムを選択してください。選択するシステムは『PCM』を選択してください。

3. 診断メニューが表示されます。『作業サポート』を選択してください。



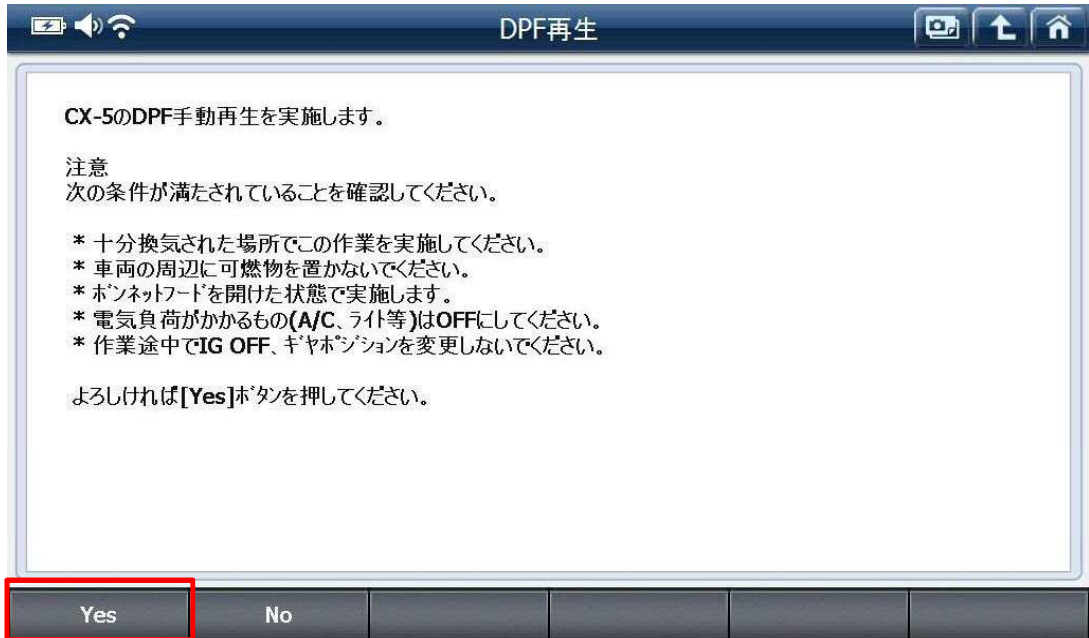
〈図: 作業サポートを選択〉

4. 『DPF 再生』を選択してください。



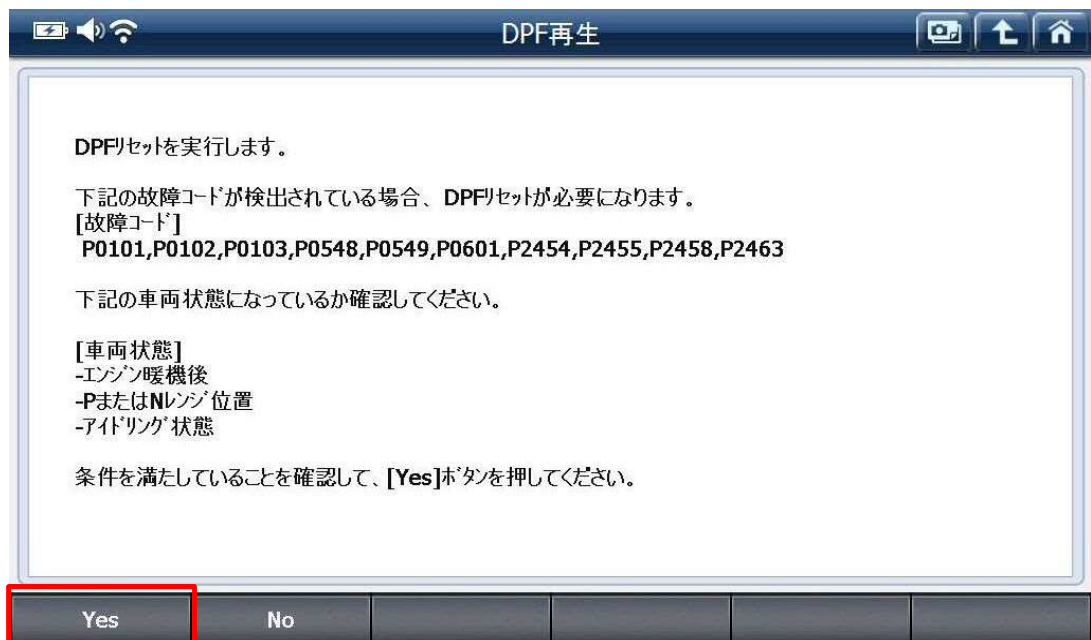
〈図: DPF 再生を選択〉

5. 注意事項を確認し『Yes』を選択してください。(どの車種でも共通の注意事項です)



〈図:DPF 再生注意画面〉

6. DPF リセットを実行します。車両状態の条件を確認して、『Yes』を選択してください。



〈図:DPF リセット実行画面〉

7. DPF 再生画面が表示されます。水温を確認して、『Yes』を選択してください。



〈図:DPF 再生水温確認画面〉

8. DPF 再生中です。完了するまでしばらくお待ちください。  
 ※再生完了まで約 30～60 分かかります。



〈図:DPF 再生画面 1〉

9. DPF 再生が進行すると、現在値の項目が「再生中」から「お待ちください」になります。DPF 再生完了の確認をしていますので、しばらくお待ちください。



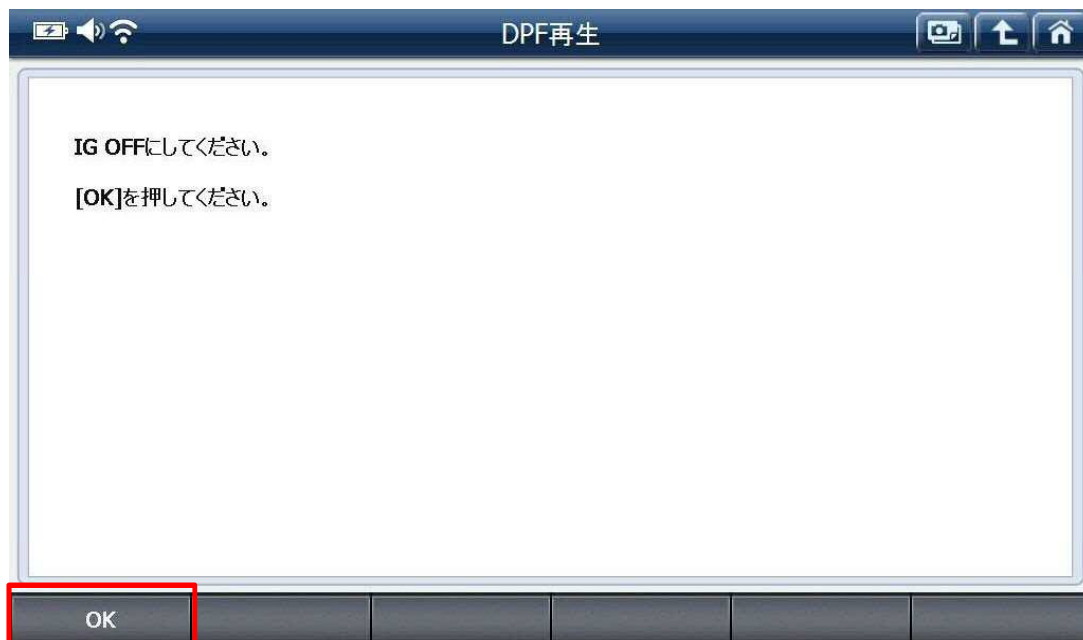
〈図:DPF 再生画面 2〉

10. DPF 再生が完了しました。『OK』を選択してください。



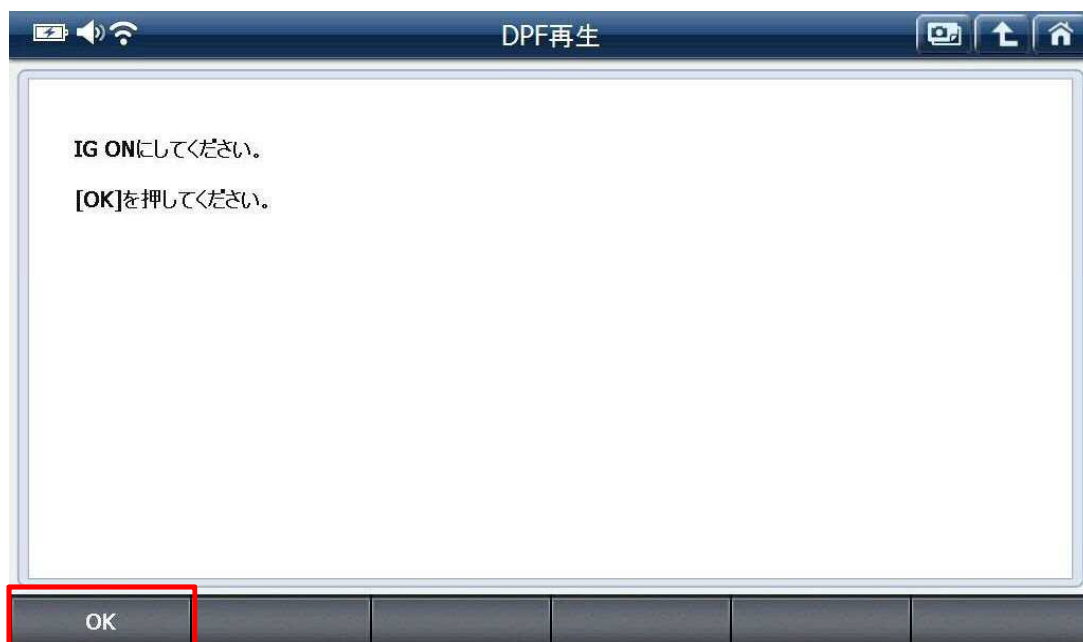
〈図:DPF 再生完了画面〉

11. IG SW OFF にして、『OK』を選択してください。



〈図:DPF 再生後 IG SW 操作画面 1〉

12. IG SW ON にして、『OK』を選択してください。



〈図:DPF 再生後 IG SW 操作画面 2〉

13. G-scan の画面を車両選択まで戻った後、エンジンを始動してください。
  
14. 車両のコンビネーションメーター内の液晶ディスプレイに「DPF 内に PM が堆積しています」、「DPF 点検」のメッセージが表示されないことを確認してください。

**メッセージ表示**

有り:再度、DPF 再生を実施してください。

無し:DPF 再生完了

15. 作業を継続する場合は、手順2からやり直してください。